

答弁者 市長

1 高齢者の福祉対策について

- (1) 看護師や介護福祉士の人材不足や特別養護老人ホーム入所待機者の解消などの課題に加え、要支援の方々への介護予防サービスも大きく変わりつつある。看護師や介護福祉士確保などを含む介護保険事業の計画をどう考えていくのか。
- (2) 特別養護老人ホームの入所待機者を介護する方も高齢者が多く、老々介護の問題への対応が求められるが、今後の方針はどうか。
- (3) 本市の新規福祉施設の整備計画について、介護保険制度の改正により介護の仕組みが変わる。住民にとっては、地域密着型サービス、小規模多機能型居宅介護等、地元に着した施設が求められているが、現在までの整備状況と今後の整備計画はどうか。
- (4) 看護師や介護福祉士の人材不足解消のため、県においても様々な支援をしている。一方で、市独自の施策も必要かと思うが、現在の状況と今後の見通しはどうか。

2 I L Cの誘致について

- (1) 国における復興期間も平成32年度までと定められていることから、今年1年間がI L C誘致の正念場である。積極的な誘致に向けて、県や他自治体との連携、市民の機運上昇が必要かと思うが、今後の取組はどうか。
- (2) I L C誘致のためにも、大船渡市から一関市までの区間における道路網の整備と国道343号の新笹ノ田トンネル建設の2つの整備が重要であると考えますがどうか。

- (3) ILC誘致後を見越した準備が必要だと感じるが、本市の今後の取組と方針はどうか。また、インバウンドへの対応はどうか。